

〈中部版スクラム教育事業〉令和8年度 第1回生徒指導担当者研修会

【日 時】 令和8年4月3日（金）

【対象者】 生徒指導担当教員

【ねらい】 中部地区小・中学校におけるいじめ、不登校、問題行動等の生徒指導上の諸課題の解決に向けて、担当者としての知識や見解を深め、指導力の向上を目指し、生徒指導体制の充実を図る。

【内 容】

○学校が取り組む生徒指導について

- ・個人の判断ではなく、学校組織全体で判断し対応すること
- ・対応のシステムを可視化し、情報共有を徹底していくこと
- ・問題が起きてからの対応ではなく、未然防止の取組の大切さ
- ・被害者の視点に立ち、「いじめ見逃し0」を目指した積極的な認知を行うこと

○協議：いじめ認知から対応までにおける自校の対応について等

【参加者の振り返りより】

- ◆生徒指導と研究推進、両者の立場から学校を動かすことや、授業が勝負であり、授業を通して生徒指導を行い、子どもを育てていくことの大切さについて学ぶことができた。
- ◆自校のいじめ防止基本方針をもとに、全職員で、いじめの定義の確認、いじめの認知について確認し、全職員で認識をそろえ「いじめ見逃し0」を実践していきたい。
- ◆未然防止の観点が大切であり、普段の授業から生徒指導の視点を持つことで、生徒が安心して生活することにつなげていきたい。また、事案に対して組織的な対応につなげられるように、常に情報共有を図っていききたいと思う。
- ◆いじめや問題行動だけでなく、子どもたちの小さな困り感や変化などについて、話ができるよう、学年部だけでなく他の教職員とも気軽に相談できるような場を設定するなど、報告・連絡・相談がすぐにできる雰囲気づくりをしていきたい。

